

南多摩高次脳機能障害支援センター

Tokyo South-Tama Community Based Higher Brain Dysfunctions Center

平成30年度実績報告



南多摩地域（八王子・町田・日野・多摩・稲城）

永生会では平成25年度より東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を受託し、活動している。本事業の目的は「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実に資する」ことである。今回は平成30年度の取り組みについて報告する。



相談事業

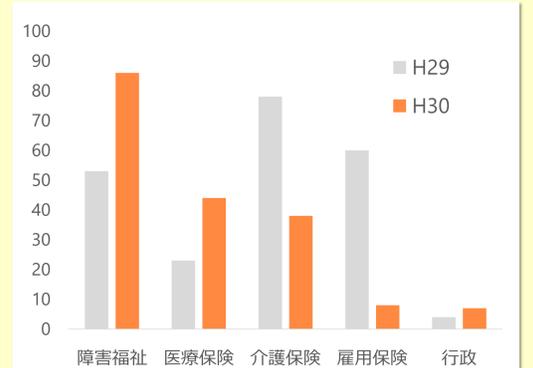
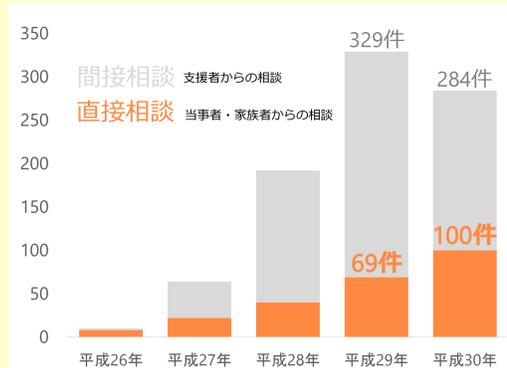
電話、面談による相談支援を実施。

総相談件数は284件（間接相談184件）であった。

主な相談機関はハローワーク、相談支援事業所、障害者職業センター、居宅介護支援事業所であり、全体の1/3にあたる。

平成30年度は、

- ①直接相談件数は69件から100件に増加した。
- ②保険種別は障害福祉、医療保険からの相談が増加した。特に、回復期病棟からの相談が増加傾向にある。



連絡会

◆協力施設連絡会（全11回 場所：天本病院）

参加施設：北原国際病院、永生病院（八王子）、多摩丘陵病院、ひかり療育園（町田）、マルシェいなぎ（稲城）、天本病院、多摩市社会福祉協議会（多摩）、日野市高次脳機能障害者支援センター・つくし（日野）

◆症例検討会（協力施設連絡会と同時開催）

頻度：月1回開催 計10回 場所：天本病院

◆地域連絡会

第6回『高次脳機能障害でつながる医療と福祉in町田』
日付：平成31年3月8日（金） 参加者：41名

◆南多摩圏域連絡会

日付：平成30年8月3日（金） 参加者：26名



その他

◆はちおうじ高次脳機能障害者家族会

「はっちゃん」運営支援

定例会：5回（特別講演会含む）

講師：橋本圭司氏〈特別講演〉

吉岡千鶴子氏〈調布ドリームでの取り組み〉

当事者講演〈10年間高次脳機能障害を歩んでみて〉

高橋潤子氏〈発症後の経済的問題にどう対応するか〉etc



◆第2回NoProblem（脳損傷）in 南多摩

企画・運営

参加者：164名（当事者54名）

基調講演：葉山靖明氏（株式会社ケアプラネット）

当事者講演（2名）、作品展示、舞台発表、

障害者スポーツ体験 **NEW**

上：音楽療法士によるグループセッション
下：障害者スポーツ体験（フライングディスク）



1 公開大症例検討会『プロフェッショナルの見立て』

症例の支援者チームと講師陣チームに別れ、シンポジウム形式での症例検討を行いました。

日付：平成31年2月10日（日）

講師：山口加代子氏（横浜市総合リハビリテーションセンター 臨床心理士）

瀧澤学氏（神奈川県リハビリテーション支援センター 社会福祉士）

参加者：75名



左：支援者チーム 右：講師陣チーム

2 高次脳機能障害支援施設マップ作成

南多摩5市の高次脳機能障害支援施設の情報集約を目的に、行政・福祉施設・病院を掲載。平成31年度5月発刊予定。

協力：ひかり療育園（町田）、マルシェいなぎ（稲城）

多摩市社会福祉協議会（多摩）

日野市高次脳機能障害者支援センター・つくし（日野）

掲載施設数：83施設



相談件数は昨年度（平成29年度）の329件に比べて減少したものの、依然として医療機関や相談支援事業所、居宅介護支援事業所等から相談が寄せられている。今年度は新たに八王子市に相談窓口が開設され、南多摩5市の全市に相談窓口が設置されたことになる。

今後当センターでは、困難事例の相談対応、支援者向け研修会の企画、5市合同での当事者・家族交流イベントの企画に力を入れて取り組みたい。



南多摩高次脳機能障害支援センター

<http://www.m-koujino.com/>

〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15 医療法人社団永生会 高次脳機能障害支援事業推進室 tel:042-666-5882 fax:042-666-5881 mail:info@m-koujino.com